

浅間軽石流

吾妻川右岸の崖や広大な裾野を形成

■■■大地の活動■■■

「浅間軽石流」は過去の浅間山の火山活動の中で最大規模であった仏岩の噴火で噴出したものです。堆積物は、吾妻川右岸に連続した崖を作り、その上は台地状の浅間高原と呼ばれる広大な裾野を形成しています。浅間軽石流堆積物は固結度が低いため、崩れやすく危険な崖となっています。JR吾妻線万座鹿沢口駅南側の大きな崖も崩壊して犠牲者を出しました。その後、大規模な防災工事が行われています。



防災工事後のJR万座・鹿沢口駅裏崖



西窪地区で見られる浅間軽石流堆積物